

講義年月日 2007年10月15日

講演者 松浦 淳子氏(国立音楽大学附属図書館 主任司書)

テーマ 音楽大学の附属図書館とは

### 1. 国立音楽大学について

- ・ 2006年度に創立80周年を迎えた単科大学である。
- ・ 少子化対策の一環として、学科再編を行い、6学科から3学科(演奏学科、音楽文化デザイン学科、音楽教育学科)にし、入学定員減も実行した。  
(現在1学年450名。学生数は平成19年5月現在で2103名)

### 2. 大学・図書館の特色

- ・ クラスとしての通常授業以外に個人レッスンの授業がある。(週1コマ)  
そのため、教員数が必要となる。現在教員は総計430名。
- ・ オーケストラ、室内学などのグループレッスンが設けられている。
- ・ 「基礎ゼミ」という2週間にわたった新入生オリエンテーションを実施。  
レポート提出により単位が与えられる。図書館利用ガイダンスもこのカリキュラムに組み込まれており、図書館の入館方法から学ぶことにより、図書館に慣れてもらうことを目的としている。
- ・ T A C (多摩アカデミックコンソーシアム)に加入している。  
T A C加盟館：国立音楽大学、国際基督教大学、東京経済大学、  
武蔵野美術大学、津田塾大学  
T A C加盟館内で、単位互換制度を行っている。  
図書館間では、学生・教職員の利用のほか、T L L貸出(赤帽便での相互貸借制度。週3回の配達)なども行っており、分館のような位置付けを持っている。

### 3. 図書館の機能

- ・ 音楽資料の種類  
楽譜・AV資料(CD、DVD、ビデオ、LDなど)があり、多様な資料を扱っている。  
楽譜の中でも、フルスコアやヴォーカルスコアなど、1つの作品に異なる種類の版が存在することも多い。
- ・ 音楽資料の検索  
同じ作品の楽譜が複数の国で出版された場合、タイトルなどの言語表記が出版国によって違うことがある(例：魔笛(日)、Zauberflöte(独)、Magic flute(英)など)。しかし、中身の音符自体は共通であり、音楽作品を求める利用者にとっては、どこで出版された楽譜であっても変わりはない。どの言語からでも利用者の求める作品が検索できるように、タイトルの典拠データを作成し、書誌データとリンクさせている。
- ・ 統一タイトルで作品を同定させる  
同じタイトルを持つ曲名(例：「ソナタ」など)を多くの作曲家が作曲しているため、検索時に区別がつかなくなる。また、日本語、ドイツ語、英語のタイトルを持つような曲など、どんな言語のものでもヒットするように、典拠シソーラスで日本語のデータを作成しておくことによって、同定のものとして検索できるようになっている。